

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

山崎、千賀、入江、一般 1 名

2. 山行スタイル

バックカントリースキー

3. 目的

初級のルートを楽しむ

4. 山域／ルート

奥美濃 大日ヶ岳（標高 1708.9m）

5. 交通手段

車

6. 行動記録

<入山日 2023 年 2 月 26 日 下山日 2023 年 2 月 26 日>

第1日:8:40 高鷲スノーパークゲレンデトップ 8:50→9:50 山頂→山頂北面のオープンバーンを
上り返して 2 回滑走→12:00 ゲレンデに向けて下山滑走開始→14:10 ゲレンデに合流

7. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由
予定どおり。

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか？

発生した場合、具体的に記す
なし。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

一部新雪の下にクラスト層があり、上り返して滑りやすい箇所があった。この箇所を避けるためにキックターンしようとしたが上手く行えず、そのまま進み通過できたが、リスクを下げるためには急斜面でのキックターンをマスターする必要あり。

8. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

・大日ヶ岳でのバックカントリーは、高鷲スノーパークのゴンドラを利用し、一気に標高 1520m まで上がることができるため、山頂までのハイクアップが 1 時間ほどでお手軽。

・高鷲スノーパークの登山者用ゴンドラチケット(往復のみで 1500 円)は、リフト券売り場では販売しておらず、インフォメーションで購入。

9. 感想

<山崎>

私がリーダーとして計画していた今回の大日ヶ岳 BC。なのですが、諸事情により今回は山には入らず、麓のゲレンデで居残り練習をすると固く心に誓って神戸を発ちました。しかし、岐阜への車中、たまごちゃんと S さんのコンビからあの手この手の大説得を受け、その場にはいないにわとりさんから LINE で背中を押され。蓋を開ければ当初の誓いもむなしく、翌朝しっかりと山中へ連行されておりました。。。

ただ、今だから言えることですが、結果としてこうして連れて行ってもらえたことに心から感謝しています。

快適なハイクを経て大日ヶ岳山頂に到達したあと、念願の初対面をさせてもらった M さんに良質な滑走斜面を探していただき、ちょっと先行してもらいました。M さん、下から私たち 3 人の滑走スキルをチェックくださるのとのことで、緊張…。さらに諸事情によるいろんな思いが頭をよぎり、もっと緊張。今にも口から出そうな心臓をどうにか飲み込んで、決死でドロップしてみました。すると…「あら！？なんか！気持ちいい！え！楽しい！Wow！」一瞬で M さんのすぐ横にたどり着いていて、その時の私はおそらくとても変なにんまり顔だったと思います。緊張と、楽しさと、自分自身への意外さと驚きで、とっ散らかった顔。M さんから、話に聞いて想定してたより滑れてるね、とのコメントまでいただき、変な顔に拍車がかかる。

せっかくなのでもう少し下まで滑って満喫。わーい滑れてる。爽快。

さらに登り返してもう一本長めに滑る。楽しくてテンションが上がる。いやー来てよかったー！笑
ゲレンデへ向けての下山はまたも諸事情のトラウマから緊張しました。トラバースは意外と何とかかなりしましたが、最後割と斜度のある、そして新雪の下に数日前の雨でできたクラスト層のある斜面を登り返すのにだいぶ苦労し、M さんサポートのもとツボ足で突破することに。シール歩行に慣れていないこと、そしてそれ以上にシール幅が少々足りないのが元凶だったと思われます。たった 5 mm がこんなに効くとは。ぼちったシール、早く届け。

最後はゲレンデを滑って、クレープ食べて(これもトラウマ克服)、快適ドライブからの焼肉を堪能して、おうちに帰りました。

今回、ぺたんこだった私と一緒に今回こうよと強く強くひっぱってくださったメンバーのみなさん&にわとりさんに本当に感謝です。今回、今までの BC の中で、一番楽しく滑れたように思います。とはいえ、滑りはもちろん、ハイク・滑走のモード切替えで時間がかかってしまうことや、トラバース・キックターンなど、課題はまだたくさん。練習あるのみということで、これからもぜひ一緒にさせてください。大日ヶ岳、ほんとにほんとに、行ってよかったです！行かない行かないっていっぱいごねてごめんなさい！

<千賀>

約 5 年ぶりの山スキー。

2 度目の大日ヶ岳。

前回は山頂までの道のりも辛く長く厳しかったが、今回はあつというまで、シールを着けての下りも無難にこなせた。

滑りもねー、快適！快適！

前回は深雪で頭まで雪に埋り、仲間に掘り出して救出してもらおう有り様だったが、今回はそんなこともなく、気持ちいい滑りを楽しんだ。

最後もまだまだ滑りたかったが、後ろ髪を引かれる思いでゲレンデへと戻った。

これなら山スキーやっっていけるかも。

みんなよろしくね😊

<入江>

先月 25 年ぶりのゲレンデスキー復活の 1 週間後に、すべてが借り物のギアでバックカントリースキーに初挑戦し、撃沈。

あれから 1 ヶ月、めっちゃがんばった。

スキー場へ毎週末通い、基礎練を繰り返し、さらに非圧雪エリアや最大斜度 40°バーンとかにガンガントライし、そして何度も何度も派手にこけまくり、でもめげずにトライを繰り返した。正直とても怖い、めっちゃめっちゃ緊張する、でもこの恐怖に打ち勝って非圧雪や急斜面のバーンに挑むと、クライミングとかとはまた違う大きな達成感がある。1 ターンでも上手く滑れたらとても嬉しい。

この1ヶ月でバックカントリーギアも次々ゲットし、聞き慣れない専門用語を覚え、専門雑誌も購入し、1ヶ月前にはバックカントリースキーを始めようとも思っていなかった自分からは、想像もできない状態だ。

そして今回は、この練習の成果を試す2度目のバックカントリースキー。

大日ヶ岳、初心者向けらしい。でも1度目の白馬乗鞍岳も、初心者向けとそそのかされてひどい目にあっている。なので、全く信用できないと思いながら臨んだ。

今回はベテランのにわとりさんは北海道遠征に行ってしまう、初心者3人で大丈夫かな～という状態だった。でも強力な助手みやちゃんが急遽参加してくれた。

久しぶりの再会に話しもはずみ、大日ヶ岳山頂まであつという間にシール登行で到着。途中、前大日から狭い尾根をシールをつけたままコルまで下る箇所があり、初体験であったため、かなり心配ではあったが、なんとか転倒せずにすべることができ、第一核心クリア。いよいよスキー滑走だ。まずはどの程度滑れるかみやちゃんチェック！を受ける。緊張マックスとなり、グレンデであんなに練習したことをすっかり忘れ、最初の数ターンはなんとか保ったが、最終こけてしまった。でも思っていたよりは滑れた！その後は少し冷静さを取り戻し、ストックワークなど基本を思い出しながら滑り、転倒することなく、1ヶ月前とは比べものにならないくらい、気持ちよく滑ることができた。途中ルーファイやトラバースでみやちゃんの助けもありながら、楽しむことができた。今回は雪質も少しフカフカ程度で、滑りやすかったことも良かったんだと思う。

そうそう、今回リーダーだったひよこちゃん、諸事情により山に入らずスキー場で練習するとだだをこねまくっていたが、強制連行した。そしたら、とても気持ちよさそうに上手に滑っていて、無理矢理だったが、結果オーライとなり良かった良かった。



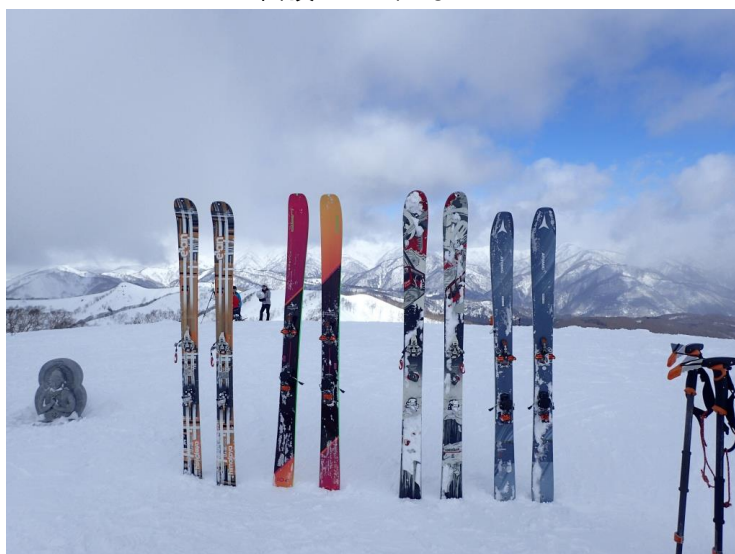
山頂が見えてきた



山頂のほとけさま



山頂にて



じゃーん



オープンバーンにドロップ！



ひと滑りして上り返し後の休憩



気持ちよく滑走ちゅー1



トラバースしながら下山滑走



気持ちよく滑走ちゅー2



終了後のお楽しみ